

経済財政運営と改革の基本方針における Well-being の記載

【骨太方針 2022 における記載の抜粋】

第 2 章 新しい資本主義に向けた改革

2. 社会課題の解決に向けた取組

(3) 多極化・地域活性化の推進

東京一極集中の是正、多極集中、社会機能を補完・分散する国土構造の実現に向け、デジタル田園都市国家構想の実現による個性をいかした地方の活性化を強力に進める。また、従来の地方創生にも取り組むとともに、分散型国づくりを進める。地方発のボトムアップ型の経済成長を通じ、持続可能な経済社会の実現や個人と社会全体の Well-being の向上、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。

第 4 章 中長期の経済財政運営

1. 中長期の視点に立った持続可能な経済財政運営

政府向け及び一般向けの可視化等を含めた統計データのエコシステムの構築に向けて取り組むとともに、GDP 統計等における無形資産の捕捉強化や、文化資源コンテンツの価値等のソフトパワーの把握・計測等、さらに各政策分野における KPI への Well-being 指標の導入を進める。また、公的統計の不適切な取扱いを繰り返さぬよう、集中的な統計改革を行う。

5. 経済社会の活力を支える教育・研究活動の推進

多様な子供たちの特性や少子化など地域の実情等を踏まえ、誰一人取り残さず、可能性を最大限に引き出す学びを通じ、個人と社会全体の Well-being の向上を目指す。

【骨太方針 2021 における記載の抜粋】

第 2 章 次なる時代をリードする新たな成長の源泉

5. 4つの原動力を支える基盤づくり

(1) デジタル時代の質の高い教育の実現、イノベーションの促進

人と人との触れ合いも大事にしながら、これらの取組を通じて個人と社会全体の Well-being の実現を目指す。

第 3 章 感染症で顕在化した課題等を克服する経済・財政一体改革

7. 経済・財政一体改革の更なる推進のための枠組構築・EBPM 推進

(経済・財政一体改革の点検、EBPM の推進等)

こうした取組の一環として、政府の各種の基本計画等について、Well-being に関する KPI を設定する。